

九月二十五日午前六時、避難勧告が解除され家路につかれましたが、流木や土砂に埋まり、跡形もなくなった田や畑、水に浸かった我が家の片付けに追われていました。被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧に全力を注いでまいります。

9・15豪雨 雨が全てを

雨災害 のみ込んだ目

九月十四日から降り始めた雨は、十五日には豪雨となり町内各所に大きな被害をもたらしました。その後停滞した秋雨前線や台風の影響で、避難勧告が発令されるなど、住民の方は不安な日々を送りました。

〔畦 畑〕



川か道が見分けがつかないほど

〔杉 崎〕



道路が決壊し、土のうで補強

〔黒 内〕



流木により押しつぶされた建物

〔信 包〕



↓
かろうじて、ガードレールが確認できる

〔下 野〕



豪山が崩れ犠牲となられた現場

〔戸 市〕



増水で徐々に削られる道

〔寺地・笹ヶ洞〕



川沿いの田に流れ込んだ石



↓
見る見る水量を増し、濁流が道まで襲いかかってくる（対岸から）

〔宮 川〕



警戒水位を越えた河川

〔数 河〕



あたり一面水につかる

〔 谷 〕



橋を乗り越え濁流が襲う



濁流が道路まで破壊

検証 No 1

上空からの被害状況

九月十八日、県の防災ヘリコプター「若鮎」が来町し、空から被害状況を把握しました。



↑ 谷～信包(上部に見えるのは鷹狩橋)

笹ヶ洞寺地

(右の橋は石井堂橋)



上の写真で茶色く見えるのは土砂です。田んぼや一部民家にも被害が及んでいます。

右の写真からは本来の川の流れてではなく、沿岸の田畑をえぐりながら水が流れた跡が見られます。

↓ 黒内果樹園付近



黒内地区には、黒内川と尾崎川が流れていますが、いずれの流域も大きな被害を受けました。果樹園上流は山が大きくくずれ、大木や大きな岩が流されてきています。

土砂の流出で施設に打撃を受け長期休業かと心配されていた果樹園・すば～ふるも急ピッチで復旧が行われ、それぞれ営業にこぎつけることができました。

検証 No 2

流木による被害

今回の災害では流木が多く見られました。川沿いでは、根こそぎ流れついた大木の無残な姿が目につきました。

左の写真で縦状に茶色く見える所は、山の土砂崩れ現場です。予想もつかないほどの強い雨が降ったと思われる。



猪臥山付近(ヘリコプターより撮影)

水がひいた現場に残る流木



災害カメラルポ

「ゴーゴー」と濁流の音が聞こえてくるようです



信号機も被害にあい、ご覧のようになります



水の引いた田んぼからは刈り取り中のコンバインが...



車も土砂に埋まり、乗って逃げる間もありませんでした



復旧にむけて始動

総出の清掃作業



台風の去った次の日からさっそうそく復旧作業が始まり、消防団や地元住民がいつしよになって側溝の土砂上げなどを行いました。

決壊した道路の応急復旧も終わり、なんとかライフラインも回復し、これから本当の復旧作業が始まります。



消防団も復旧作業に出動



床下浸水した家の消毒作業



重機を使って流木を取り除く



約1週間でここまで回復しました。

検証 No.3 避難住民 恐怖を語る

今回の災害では多くの住民の方が避難所にて不安な日々を送られました。十五日には十施設で一四一名が一時避難され、避難勧告が発令された二十一日には六七五名の方が避難宿泊されました。気象情報に耳を傾けながら、被害を受けた我が家や家を思い、眠れぬ夜をすごされたことでしょう。

避難所では子供たちの元気な姿が、沈みがちな雰囲気や救ってくれましたが、お年寄りや体の不自由な方には大変な生活でした。



テレビ取材を受ける避難地区の住民

十五日は通常と同じく、りんごの収穫をしていました。昼ごはん頃、雨がひどくなるし、外にあるリフトを入れようとしたら、突然ゴォーという音と共に、流木や土砂がまぐようにして滑り落ちてきました。命が第一と考えすぐにその場を離れたが、本当にびっくりしました。

十五日は昼食をとり、テレビで白鳥の災害状況を見ていました。まさか、自分の所が被害にあうとは思いませんでした。雨も激しくなり、十二時四十分、川を見たら流木が流れていました。それもツルツルの木でした。五分後には道すれすれに増水し、道路が冠水し始めました。一時すぎには川沿いの車庫の土台が抜けかけました。あつという間のことで足が震え、家の中に水が入らないようにと、カギをかけ、逃げるのが精一杯でした。橋のそばの道が抜ける時は、「ズボン」「ズボン」という感じでした。

その後は避難生活が続きました。



路面近くまで増水

土砂が入り込んだ選果場を見たときはこの先どうなるかと思いましたが、思ったより早く再開でき頑張っています。

……黒内果樹園にて……



土砂が入った選果場

9月15日水害状況



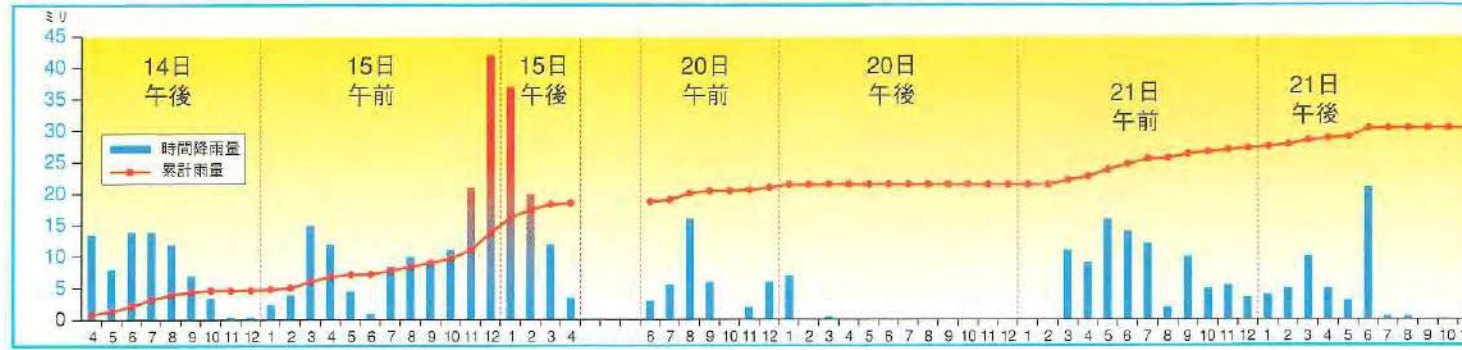
災害カメラルポ

河原ではありません。土砂に埋もれた農地です。



消防団による昼夜を問わぬ警備が続く

年間平均総雨量の40%が集中



気象状況及び被害等のまとめ (9月29日現在)

被害状況	項目	記録
雨の状況	連続雨量(森林公園)	14日午後3時～15日午後4時 286ミリ
	連続雨量(森林公園)	21日午前2時～22日午後4時 215ミリ
	時間最大(森林公園)	15日午前11時～正午 42ミリ
	集中雨量(森林公園)	15日午前10時～午後2時 4時間120ミリ
	総雨量(森林公園)	14日午後3時～24日午後9時 587ミリ
被害状況	宮川水位(警戒水位2.5m)	15日午後5時20分 2 m86cm
		21日午後8時 2 m37cm
		22日午後4時30分 2 m58cm
被害状況	道路	61ヶ所
	河川	230ヶ所
	農地	225ヶ所
	水路	75ヶ所
	山林及び林道は調査中	
被害状況	建物	水稲 47ヘクタール
		果樹 5ヘクタール
		野菜 20ヘクタール
		全壊 4ヶ所(うち住宅1)
		半壊 9ヶ所(うち住宅3)
被害状況	床下浸水	15ヶ所(うち住宅14)
	床下浸水	123ヶ所(うち住宅120)
	水道施設	7地区(39戸断水) 復旧済み
人命状況	死亡	1名 下野男性75歳15日
	軽傷者	1名
道路状況	国道41号線を始め各路線	片側交互通行・雨量規制による通行止めなど
JR	下り(古川～猪谷間)	全面運休(角川駅付近土砂崩壊)
学校等	保育園・小学校・中学校	警報状況により休園・休校
避難経緯		21日午前10時45分 信包地区坂川沿いに避難勧告
		21日午前10時50分 咄咄地区ハートピアへ避難勧告
		21日午前11時 寺地・笹ヶ洞・黒内・信包・谷地区避難勧告
		23日午前7時30分 一時的帰宅を認める(老人・子供を除く)
		24日午前7時30分 一時的帰宅を認める(老人・子供を除く)
避難状況		25日午前6時 避難勧告解除
	15日自主避難	10ヶ所1411人
	15日孤立状況	7地区296戸
	15日避難場所泊	14地区289人
	16日自主避難	2地区20人
避難状況	17日自主避難	1地区25人
	21日避難勧告・自主避難	9地区235世帯675人
	22日避難勧告・自主避難	9地区235世帯675人
	23日避難勧告・自主避難	9地区242世帯736人
	24日避難勧告・自主避難	9地区242世帯736人
避難状況	25日午前6時	避難者0人

あまりの被害に...



金子衆議院議員現場視察(19日午前)

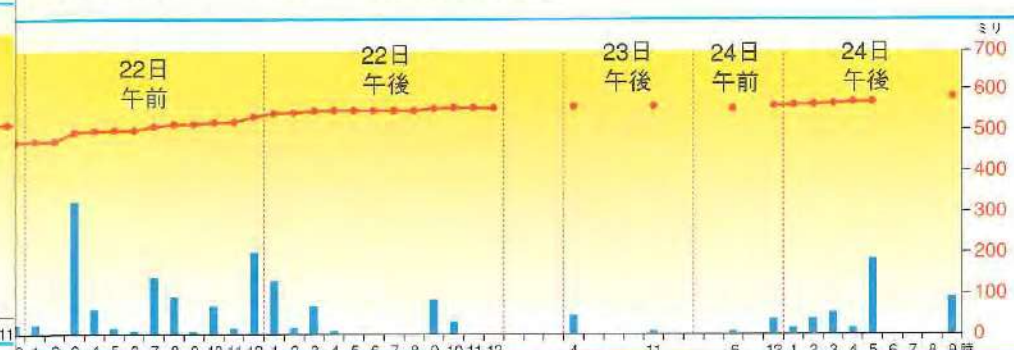


岐阜県副知事他関係局長現場視察(19日午後)



岐阜県知事他関係局長現場視察(21日)

(森林公園雨量観測記録)



豪雨は語る

災害対策本部
(九月十五日午前十一時設置)



日	時間	経過
21日(火)	午前2時頃	再び、時間10ミリ以上の強い雨
	午前4時5分	雨量規制で各道路通行止め
	午前10時	避難所への炊き出し開始
	午前10時45分	信包地区坂川沿いに避難勧告
	午前10時50分	咄咄地区にハートピアへ避難勧告
22日(水)	午前11時	寺地・笹ヶ洞・黒内・信包・谷地区の全戸に避難勧告
		他地区も自主避難
		岐阜県知事他関係局長現場視察
	午後5時～6時	時間最大雨量21ミリ
	午後8時30分	9地区235世帯675人避難宿泊
23日(木)	午前2時～3時	再び時間最大雨量21ミリ
		断続的に強い雨
	午前10時	避難所への炊き出し開始
		避難所住民の健康チェック開始
	午後4時	21日午前2時からの連続雨量215ミリ
24日(金)	午後8時	災害対策本部長、有線放送
		避難命令継続
	午前10時	避難所への炊き出し開始
	午前7時30分	台風18号接近に備え、一時的帰宅許可
	午前10時	避難所への炊き出し開始
25日(土)	夕刻	台風18号接近
	午後9時	14日からの総雨量587ミリを記録(年間総雨量1438ミリ)
		避難勧告解除(災害対策本部続行)
	午前6時	県議会県土整備委員会 安田謙三委員長他16名現場視察
	10月5日(火)	

日	時間	経過
14日(火)	午後3時頃	時間10ミリ以上の強い雨
15日(祝)	午前10時頃	さらに時間20ミリ以上の強い雨
	午前11時	災害対策本部設置(役場内)
		消防団・役場職員450名を召集
	午前11時～12時	時間最大雨量42ミリを記録
	午後0時から	避難所へ食糧配布、炊き出し開始
16日(木)	午後2時頃	この4時間に120ミリの雨が集中
	午後3時頃	宮川水位が2 m4 cmとなる
	午後3時30分	各所で通行止め、JR下り不通
	午後4時	各地で一時的避難10ヶ所1411人
	午後4時	孤立状況7地区296戸
17日(金)	午後4時	咄咄地区家屋流出1戸
	午後4時	被害状況が各地から伝わってくる
	午後7時過ぎ	避難所へ毛布支給
	午後10時	14日午後3時からの連続雨量286ミリ
		下野地区生き埋め救出の男性死亡
18日(土)		14地区289人、各地の避難場所泊
		被害調査開始
		洞口県議現場視察
		各地で災害復旧作業始まる
		日用品配布、被災家屋の消毒開始
19日(日)	午前	町議会議員現場視察
	午後	県防災ヘリ、上空から被害状況調査
		災害対策本部長、有線放送
		金子衆議院議員現場視察
		災害対策本部長、有線放送

有線放送で状況を報告する災害対策本部長



この度の台風16号による豪雨災害は、古川町始まって以来の大災害となりました。お亡くなりになられました方のご冥福をお祈りいたしましたとともに、被災された方々に、生活をお立ていただくために、激励とお見舞いを申し上げます。

また、消防団、区長、ボランティアの皆様の献身的な救援活動に對しましては、お礼の言葉もございません。

この災害で、祖先より受け継いでこられた家屋、田畑等には見る影もなく奪われてしまいい、お慰めの言葉もございません。

議会といたしましては、町当局とともに国・県へ強力に要望し、地域の皆様方と一丸となって、早期復旧に向けて全力を傾注する所存でございます。

皆様には、心身両面にわたる、疲労の極みに達しておられることと存じますが、くれぐれも健康に留意され、この苦難の日々を乗り切ってくださいませ。お見舞いの言葉とさせていただきます。

古川町議会
議長 武藤 新一郎
議員一同

去る九月十五日の集中豪雨被害の片づけもままならぬ折、二十一日、再び強い雨が降り始めたため、再度の災害発生を懸念し、危険な地区への避難勧告を発令させていただきました。その後二十五日午前六時に避難勧告を解除したところでございます。

長期に亘る不自由な避難生活をお願いし、皆様本当にご苦勞様でした。

また、警察署、消防団及び区長の皆様をはじめ、町内業者、関係団体、ボランティアなど並々ならぬご尽力を賜りました方々に、心から厚く御礼申し上げます。

今後、町と致しましては、二次災害防止のための緊急工事に全力を上げるとともに、町史始まって以来の大災害ですの、国・県に、復旧計画の立案と工事の早期着工を要望し、復旧工事の一刻も早い完成に努力する所存でございます。

被災者の皆様に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、町行政に格別の御理解を賜りますようお願い申し上げます。報告とさせていただきます。

古川町長 菅 沼 武